

液卵冷却工程への氷蓄熱システム導入

この工場では、卵から「液卵」を作っており、液卵の冷却工程で大量の冷水を必要としていました。

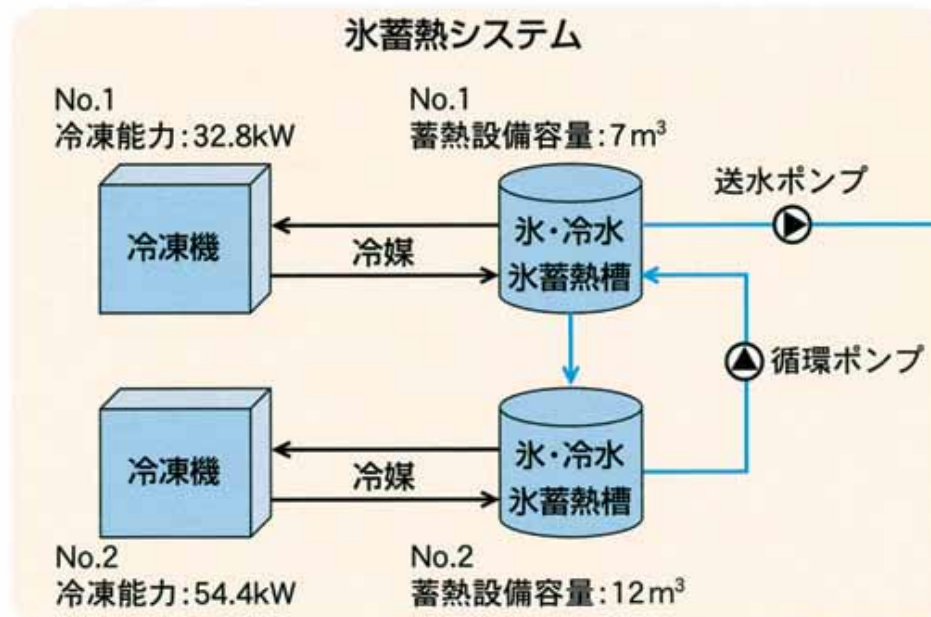
工場の生産量の増加に伴い、冷水が不足したため、冷凍機の増設が計画されました。そこで最大需要電力の低減と冷水の供給不足を解消するため、氷蓄熱システムを導入しました。夜間蓄熱とデマンドコントロールの組み合わせにより、昼間のデマンドを抑えることが可能になりました。

改善効果

- ▶▶ 産業用蓄熱契約の割引により、電気料金が低減できました。(約54万円/年)
- ▶▶ デマンドの増加を抑えることができ、基本料金が低減できました。(約48万円/年)
- ▶▶ 氷蓄熱システムの採用により負荷率が改善しました。(46.4%→53.7%)
- ▶▶ 氷蓄熱システムの採用により「0℃付近の冷水」を安定供給することができるようになり、一層の品質向上・品質安定を図ることができました。

設備概要

- ▶▶ 冷凍機 32.8kW
氷蓄熱槽 7m³
- ▶▶ 冷凍機 54.4kW
氷蓄熱槽 12m³



液卵製造工程

